

地学フィールドワーク

日時：令和5年8月7日（月）8：00～17：30

場所：勝浦、鴨川方面 参加者：17名

講師：千葉市立千葉高等学校 山田和洋先生 三坂智樹先生 市立千葉高校の生徒の皆さん



講師の山田先生



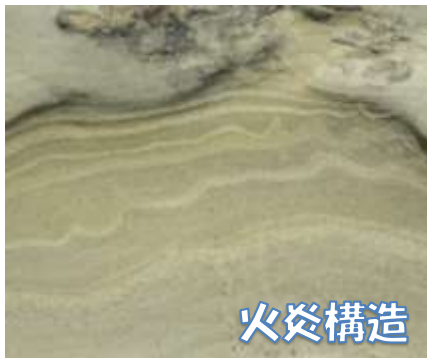
三坂先生



砂泥互層は堆積当時に大きな地震があったことを示します。



ここでは火炎構造が観察できます。



火炎構造



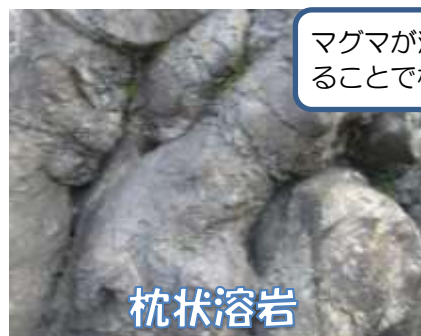
この露頭では断層や火山灰の層が見られます。



生痕化石によって当時の環境がわかります。



ウニの這い跡



枕状溶岩

マグマが海底で急激に冷やされることで枕状溶岩ができます。



この海岸では様々な種類の岩石が見られます。

【受講生の感想】

- 今まで石や岩についてあまり考えたことがありませんでしたが、今回の地学フィールドを通して、石や岩について関心が増しました。また、地学は、教科書で勉強した時はあまり興味をもてませんでしたが、実物を見て勉強するととてもおもしろかったです。ありがとうございました。
- 今回は、地層の出来方や、岩石の種類を学びました。地層の成り方は、考えるのが難しく、砂泥互層や偽礫という言葉は初めて知りました。最後の浜辺でも石の種類を見分ける事がとても難しく、わからない石もあったのですが、講師の先生に聞くとすぐ答えてもらったので改めてすごいと思いました。
- 砂泥互層が地震の際の土石流でつくられたものだと初めて知りました。火炎構造も、見つけやすいけれど風景ばかり見ていると見つけられず、またどうしてできたのかを聞くと、凄く納得がいきました。枕状溶岩がプレートの移動で本当に遠くから来ていることを聞き驚きました。八岡海岸では珍しいピンクの斑糲岩が見つけれられて、凄く楽しめました。
- 普段ではできない、解説付きの千葉の地層や岩石めぐり、すごく楽しかったです。プレートでマグマが運ばれてくるなんて、改めて自然の凄さを実感できました。ありがとうございました。